

# 学校だより西丸子



9月号

令和8年8月31日（月）川崎市立西丸子小学校

## 備える

西丸子小学校長 吉村 あかね

今年の夏は、記録的な猛暑や激しい大雨、ゲリラ雷雨などの気象災害が相次いで発生しました。しかも、そんな異常気象の中、熊本では大規模な地震も発生しました。とどめに、ネパールと中国の国境では、氷河崩落を原因とする大規模土石流が発生しました。被害に見舞われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

大変つらい話題からスタートしましたが、学校が再開し、安全安心な学校生活を確保するためには、常に危機管理マニュアルをもとに訓練を重ねたり、現行に満足せず、改善点を確認したりする必要があると考えます。子ども達とは、年間数回にわたり避難訓練や防犯訓練を実施していますが、この夏は、春の蘇生法研修・アレルギー対応研修に続き、教職員の動きを確認する教職員対象の避難訓練研修や、警察にご協力いただいた防犯訓練を実施しました。熊本の病院では、10年前の大地震の経験を教訓に今回の地震の際には迅速に病院間搬送を実現できたということです。悲劇を繰り返さない努力を、いつ起こるかわからない天災の際に実らせたのです。大いに学ぶべきだと感じました。夏休みに入ってから、地域のお祭りでたくさんの保護者の方にお目にかかることができました。お声がけくださった皆様、ありがとうございます。その中で、大雨の際の下校時について話題にくださった方がいらっしゃいました。当該日の学校からのメールがありがたかったというお声や、下校方法の判断に肯定的な感想をいただいたりしました。当日は刻々と状況の変わる雨雲レーダーとにらめっこしながら、どのように下校させることが最善か判断しなければなりません。その判断を後押ししてくださる感想をいただけたことは、本当に心強く、励みになりました。ありがとうございます。その他にも、昨年度に引き続き今年度も、学区内の道が安全に帰せる状況かどうか情報をお寄せ下さり、下校判断の際どんなにありがたかったことか。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。

それぞれの夏休みを過ごしてきた子ども達がまた学校に戻ってきました。久しぶりの学校は楽しいだけでなく、しばらくは気疲れしたり、生活リズムが戻らなかつたりすることもあるかもしれません。そんな時は、焦らず、ゆっくりリズムを取り戻していったほしいと思います。それでも不安な気持ちがなかなか取れない時は、どうぞ担任やCoにご相談ください。また、夏休みに各自取り組んだ自由研究や作品を展示し、ご覧いただけるようにしたいと思います。日程をご確認いただき是非ご来校ください。前期もあと一か月。引き続き、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## コーディネーターだより

校内の支援教育体制の1つとして別室「まるっこルーム」の活用を始めました。教室以外の場所で学習を進めたり、気持ちを落ち着けたりして過ごすための部屋です。学校では、お子さん一人ひとりに合わせてよりよい支援のあり方を考えています。お気軽に担任や支援教育コーディネーターまでご相談ください。

支援教育コーディネーター 佐々木綾子 044-733-4413